

河川および湿地の生態系管理に関する研究

教員名：三橋弘宗

連絡先メールアドレス：hiromune@hitohaku.jp

◎ どのような研究をされていて、どんなことに役立つのか？

河川や湿地の生態系保全や自然再生に関心をもっています。水生昆虫や魚類の分類や生態、種間のすみわけや物質循環に関する基礎研究や、GISによる生態系評価、実際の河川整備への適用、環境教育を通じた自然再生など幅広い応用研究を行っています。希少種の生態に着目するだけでなく、河川生態系における環境との関連性や生態系評価、自然再生ならびに河川整備計画や環境アセスメントなどの政策的出口、展示づくりや自然再生の技法や生涯学習を通じた持続可能な市民活動開発など統合的な環境科学の構築を目指しています。



魚類や底生動物の隠れ場の再生と生物調査

◎ 主な研究業績 https://www.researchgate.net/profile/Hiromune_Mitsuhashi

- 1) 《生物多様性情報》三橋弘宗 (2010) 「生物多様性情報の整備法」, In: 鷲谷いずみら編『保全生態学の技法』, pp 103-128, 東京大学出版会.
- 2) 《生態系評価》Osawa, T., Kohyama, K., & Mitsuhashi, H.(2016) Trade-off relationship between modern agriculture and biodiversity: Heavy consolidation work has a long-term negative impact on plant species diversity. *Land Use Policy* 54:78-84.
- 3) 《生態系評価》竹川有哉, 河口洋一, 三橋弘宗, 谷口義則. (2017). 日本におけるイワナ *Salvelinus leucomaenis* の生息適地推定と地球温暖化を考慮した保全計画への適用. *保全生態学研究*, 22(1), 121-134.
- 4) 《自然再生の方法論》三橋弘宗 (2015) 「小さな自然再生のすすめ」, In: 「小さな自然再生」事例集編集委員会編著『できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生事例集』, pp 6-9, 日本河川・流域再生ネットワーク (編集および執筆メンバー)

◎ 学生に向けて一言

大学院の担当教官ではありませんが支援します。博物館には地域研究員という制度があり、無償で登録できます。これまでに多数の全国の大学、企業、自治体や教員の方の研究発表を支援してきました。実践研究に関心がある方は相談の上、立場を問わず対応します (中高生も!)。生態系管理やGIS、生物多様性情報、自然再生などの実務でチャレンジしたい方で、院卒の資格に興味がなく、授業料を捻出する経済的余裕がない方を博物館の機能を活かして支援します。標本作成の技法や展示製作に興味のある方はどうぞお声かけください。